

# まちづくり ひろしま

被爆100年(西暦2045年)の姿をめざして

創刊号(平成24年9月15日)

メールアドレス: [hirosima.idea.c@urban.jp](mailto:hirosima.idea.c@urban.jp)

〒733-0002 広島市西区楠木町1-9-7

発行人: 前岡智之、編集者: 瀧口信二

配信元: 広島アイデアコンペ実行委員会

ご提案・ご意見等は、こちらまで

## □ごあいさつ

あの被爆の焼土から、先輩方の汗と涙により築きあげられた現在のひろしまに、私達は、暮しています。都市の環境がめまぐるしく変化する中、広島に生まれ、育ち、活動する私達は、ここまでのまちづくりを学習し、再確認しながら「めざした平和祈念都市ひろしま」を実現し続けることに積極的に参加したいと考えました。昨年、その手かがりとして【広島市中央公園アイデアコンペ】を実施し、全国から多くの提案をいただき、沢山の市民の方々に参加いただき、その投票により順位を決めました。

引続き発行するこの【まちづくりひろしま】は、今、動いているひろしまの内容をより多くの市民に知っていただき、考える場を提供し、実感をもってまちづくりに参加する一助となれば幸いです。  
(前岡智之)

## ひろしまのまちづくりの動き

### ○公開された旧広島市民球場跡地委員会(第4回)を傍聴した!

#### ・これまでの動き

2011年10月に球場跡地の活用策を考える跡地委員会を立上げ、★都市の中核性、文化的な機能強化、回遊性、実現性等の視点で議論し、12年度末までに活用策を出す予定。これまでに3回の委員会と4回の検討グループ会議が開催される。

#### ・第4回跡地委員会

2012年8月10日(金)に開催され、検討グループ会議で整理された中間取りまとめ(案)について議論する。球場跡地に相応しい主たる機能として文化・芸術機能と緑地広場機能に絞り込む予定であったが、スポーツ複合型機能等を推す意見の巻き返しがあり、中間取りまとめは流れる。機能を単一ではなく、複合的に捉えるべきであるという意見が多く出される。

#### ・第5回跡地委員会

8月24日(金)に開催され、相応しい機能として、文化・芸術、緑地広場、スポーツ複合型の3つに絞り、中間取りまとめとする。その結果を8月31日に松井市長に報告。今後、市がイメージ図と概算事業費を作成し、実現の可能性等を検討する。

#### \*コメント\*

3つの機能に絞り込まれ、大詰めの段階を迎える。中央公園とその周辺には多くの機能がすでに備わっている。機能を比較することではビジョンは決まらない。球場跡地をひろしまのコア空間の中心と捉えると、周辺のさまざまな機能を有機的に結合し、連続する役



第4回跡地委員会傍聴  
(2012年8月10日)



旧球場跡地現状(2012年5月)  
(撮影: 広島平和記念資料館)

割が最優先する。その意味でスポーツ機能はあり得ないし、平和発信機能は欠かせない。

委員会のメンバーが自分の所属する組織の意見から離れ、一広島市民としてどの機能を優先すべきかを真剣に考えれば、自ずと回答が導き出されるものと思う。

なお、9月14日付け中国新聞[発言 / 交差点(意見募ります)]で、球場跡地の活用について意見を求めているが、市民的な議論の盛り上がり期待したい。(前岡、瀧口)

## おすすめ

### ○平和記念資料館企画展「基町 姿を変える広島開基の地」に行こう！

- ・期間：2012年12月12日（水）まで
- ・会場：広島平和記念資料館東館地下1階展示室（5）

今、広島平和記念資料館で企画展「基町」が開催されている。広島開基の地「基町」は広島城のお膝元から軍の中心地へ、そして被爆からの復興をとげて高層アパート群、中央公園内の文化施設やスポーツ施設、県庁や市民病院等の現在の姿に変遷している。これからも変わり続けていくであろう。

今、旧市民球場跡地が見直されているが、基町の歴史を振り返り、将来の姿に思いをはせることは意義深いと思う。12月12日まで開かれているので、興味ある方は足を運ばれたい。



展示会場

#### \*コメント\*

戦前は城内に大本営が置かれ、軍都の中心地のイメージが強いが、一方で、練兵場等で博覧会や競馬・オートバイレースが行われ、屋台や見世物小屋で賑わい、市民の憩いの場でもあったという。意外である。

被爆により壊滅し、その後の復旧・復興には紆余曲折があったが、川沿いのバラック住宅は当時の記憶が蘇る。戦後間もなくこの地区の旧軍用地の大半は公園用地となり、市民広場、中央公民館、児童文化会館、児童図書館等の施設が建設されたが、今は跡形もない。

旧市民球場が1957年に完成し、その頃には児童文化会館も残っていたが、1964年に旧県立体育館建設のため取り壊される。旧市民球場も解体され、どのような形で記憶が残されていくのか。

かつて丹下健三氏は中央公園を平和公園に対して、市民が楽しく、豊かに暮らすことにより、平和を享受する地域として提案している。そのビジョンは引き継ぐべきと思う。

(瀧口)

### ○昨年のアイデアコンペの中から提案する！

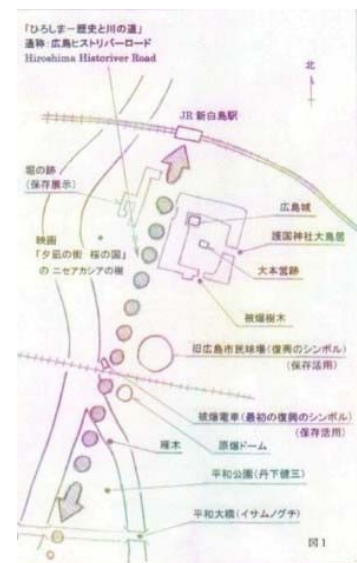
当面、昨年行った広島市中央公園アイデアコンペの提案作品の中から市民の多くが良いとした案を紹介していく。

#### ・最優秀賞作品番号5（広島市民球場跡地利用市民研究会）

未来への伝言板、球場保存、市民球場記念ホール、被爆電車の展示等の個々のアイデアも然ることながら、平和公園・中央公園及びその周辺に存在する広島の歴史を物語るものとそれに寄り添うように流れる川を一体に捉えて、地に根付いたコンセプトをベースに置いている点が好ましい。

中央公園の地は、江戸時代は広島城の一郭であり、明治になると軍の施設、被爆後は仮設住宅、市民球場、体育館、図書館等の文教施設、そして現在に連なっている。

特に、復興の象徴ともいえる広島市民球場の歴史や思い出をどのような形で継承すべきかしっかりと議論し、市民



作品番号5より  
「広島一歴史と川の道」

のコンセンサスを得る努力が必要であることを訴えている点は共感する。

**\*受賞者：古池周文氏のコメント\***

1. あの場所の特殊性と重要性、大きな可能性や役割を理解する。
2. 機能の補完など部分レベルに留まりぶれないよう、市民から生まれた理念等ゆるぎない基軸をたてる。
3. そこから未来へ向けた世界に誇れる素晴らしい場所へ。より高く、より広く、こう願っている。

**○紹介 まちづくり関連の団体とその動き**

広島を良くしようと日々努力している人たちを応援するために、まちづくりに寄与している団体等を紹介していきたい。

**・NPO法人アートプラットフォームGの紹介**

NPO法人アートプラットフォームGは2009年10月に設立。中区上八丁堀にあるギャラリーGの運営を中心として、広島市内でアート系のイベントを実施。

ギャラリーGでは、多ジャンルの展覧会を週代わりで行う。貸しギャラリーとしての運営の他に年10回ほど企画展を実施している。企画展は広島で活動している若手作家による個展や広島ゆかりの実力のあるベテラン作家を取り上げる展示など。

市民、行政、商店街、企業などとの連携により、広島の芸術文化を通したまちづくり、地域の活性化推進を目指す。2011年10月～翌年3月には広島市より旧日本銀行広島支店における市民提案による文化イベント実施事業の委託を受け、『Hiroshima EXsite』を大きなテーマとして月に一回、旧日本銀行広島支店にて文化イベントコーディネートや企画展を実施。広島アイデアコンペの活動や意義深さに感銘を受け、その第1弾として「広島中央公園アイデアコンペ作品展示」を開催する。

『Hiroshima EXsite』は、「超える」「広がる」という意味を持つ“EX”をキーワードとし、旧日銀広島支店を“EX”する「場」として、最新の文化活動を多角的に展開させる。展示・上演・上映・講演・ワークショップ等、既成概念を超えて、多元的な視点から文化をキャッチする場所に変えていこうという革新的な試みである。

“EXsite!” (エクサイト) …さまざまな文化コンテンツが協働し共振する場

“EXsite!” (エクサイト) …表現することを通じた学びと交流、創発の場

(ギャラリーG)

まちづくりをハード面だけでなく、文化・芸術といった幅広い面からチャレンジしていこうというNPO法人アートプラットフォームGの活動は興味深い。

**□むすび**

みんなで考え、みんなで育てる「ひろしまのまちづくり」が本レポートのモットーです。皆さんからの意見や提言等をお待ちしています。できるだけ紙面に反映させていきたいと思えます。

(瀧口)



ギャラリーG全景  
(アートプラットフォームG)



アイデアコンペ作品展示会